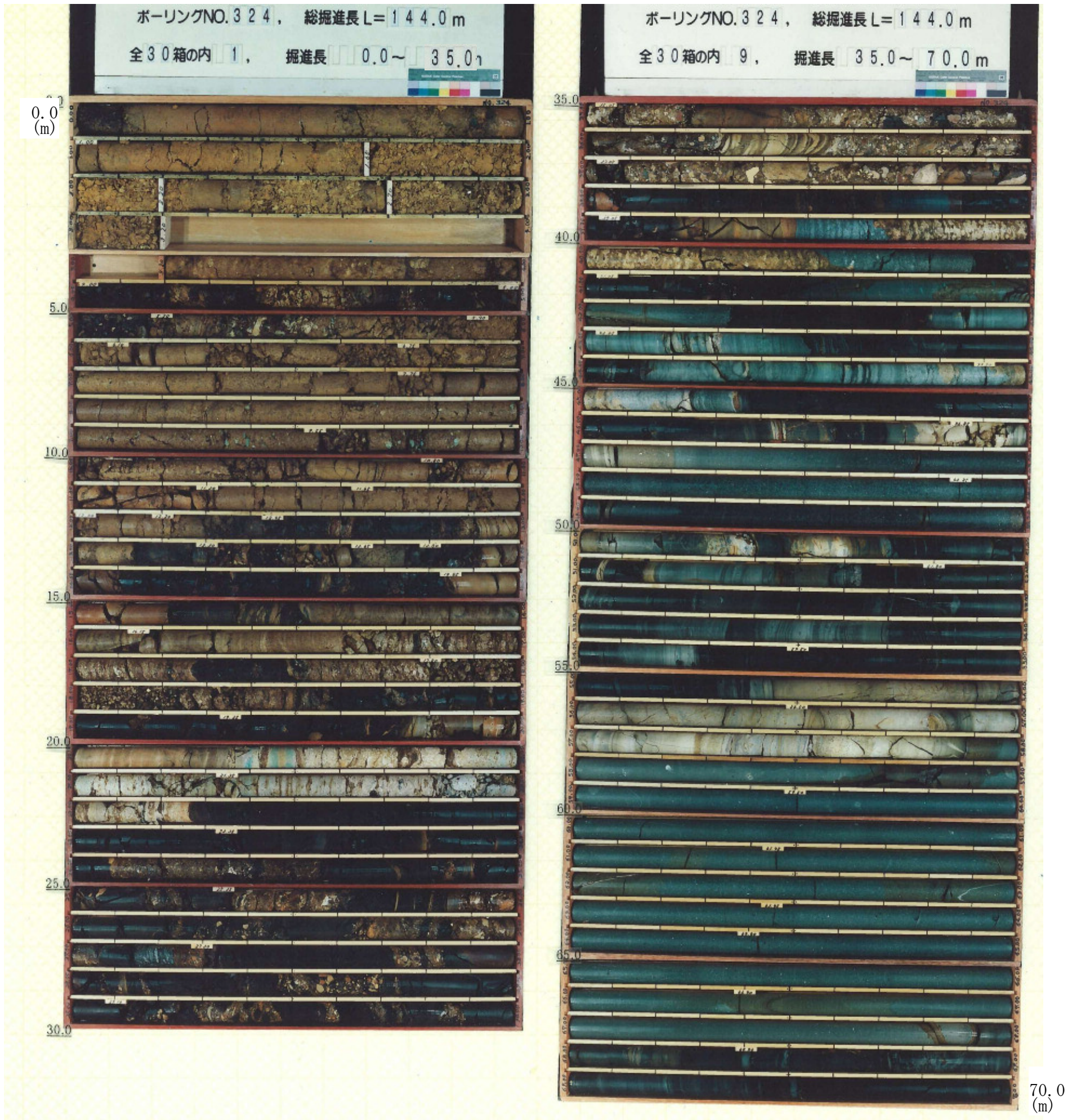
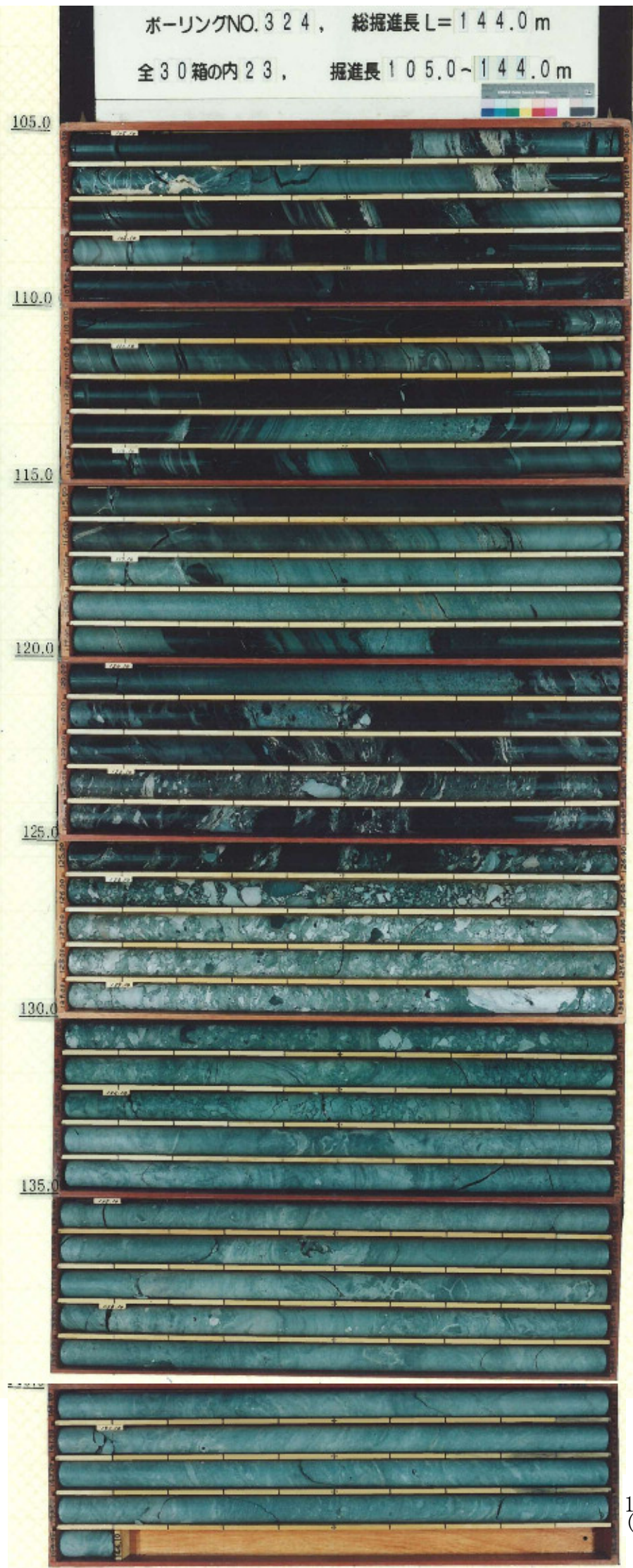
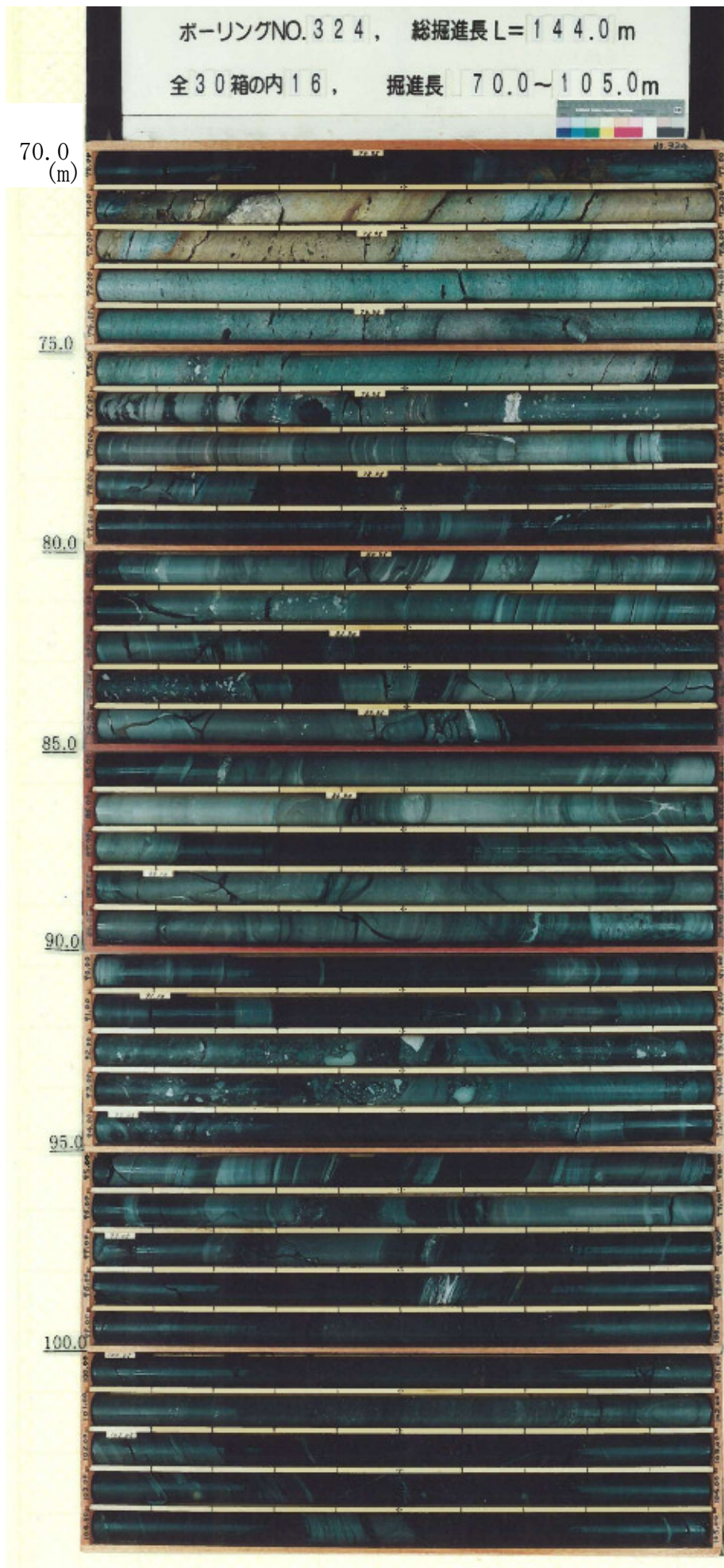


No. 323 孔 (5/5)

孔口標高		T.P. +83.61 m		掘進長		134.50 m		調査期間		1997年 12月 11日 ~ 1998年 1月 15日		試験機械		D2-G			
角度		—		方向		—		孔内水位		T.P. +81.70 m		孔内試験項目		孔内水平載荷試験・岩石試験・三軸圧縮試験・ポアズリ			
標尺	深度	標高	層厚	柱状	地質	色調	岩級	コア形状	割れ目	風化	コア採取率	最大コア長	RQD	孔径	孔内試験	記	事
(m)	(m)	T.P. (m)	(m)	図	種別		区分	土塊岩類柱状砂状塊状塊状	目状	程度	(%)	(m)	(%)	φ75+1-7	項目深度(m)		
120																	
1					凝灰岩	灰緑凝灰	C ₁₁				100	40	99				
2					凝灰質頁岩	灰暗青灰					100	42	96				
3	127.75	-39.14	2.76		凝灰岩	灰緑凝灰	C ₁₁				100	55	99				
4	124.40	-40.79	1.55		凝灰質頁岩	灰暗青灰					100	61	95				
5	124.54	-41.49	0.44		凝灰岩	純黒灰	C _M	129.19			100	71	99				
6	124.56	-41.45	1.12		凝灰質頁岩	灰黒暗灰	C _M	115.94			100	19	89				
7					凝灰岩	純黒暗灰					100	100	100				
8	124.00	-41.39	1.31		凝灰岩	純黒暗灰					100	38	79				
9					黒灰						100	77	91				
10					暗灰						100	26	87				
11	129.27	-36.64	2.27		黒色頁岩	純白暗黒	C ₁₁				100	61	92				
12					凝灰岩	純白暗黒					100	83	100				
13	122.53	-48.92	2.26		火山凝灰岩	純白黒灰					100	37	84				
14	124.00	-36.83	1.97		凝灰岩	純黒暗灰					100	56	100				
15	124.00	-36.83	1.97		凝灰岩	純黒暗灰					95	42	76				



No. 324 孔 (2/2)



孔口標高		T.P. +93.22 m		掘進長		144.00 m		調査期間		1998年1月29日 ~ 1998年2月25日		試験機械		D2-G		
角度		—		方向		—		孔内水位		T.P. +89.80 m		孔内試験項目		孔内水平載荷・岩石・三軸・PS検層(ゲイガー)・ボアホールTV		
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	層厚 (m)	柱状図	地質種別	色調	岩級区分	コア形状 土層岩層柱状 砂岩柱状 凝灰岩柱状	割れ目程度 程度	風化程度	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	孔径 ピット コアチップ	孔内試験 項目 深度(m)	記 事
0	0.00	93.22	0.10								100	0	0		PS検層 ダウンホール	0.00~0.10m: 粉砂土よりなる表土。植生層入る。 0.10m以下: 風化若く土砂状を呈するが、部分的に岩石組織が認められる。下部風化程度やや弱く、柱状(土)→砂質土状へと漸移する。φ2~20mm(最大40mm)の流紋岩、凝灰岩、頁岩の産角・角礫を少量混入する。下位との境界は土砂状で不明瞭。
1	0.10	93.12	0.10				D				100	0	0	φ 80mm パイプ		
2	0.20	93.02	0.10				D				100	0	0			
3	0.30	92.92	0.10				D				100	0	0			
4	4.30	89.92	1.30		火山礫凝灰岩 赤褐		D		5		100	0	0			
5	5.60	88.62	1.45		黒色頁岩・凝灰岩 互層 斑黒灰褐色		D				90	0	0	φ 60mm パイプ		20cm以下の互層・細互層。凝灰岩は風化を受け、砂質土状(下部は軟質短柱状)を呈し、凝灰岩は割れ目が密集し、割れ目に沿って塊状化が進み、短柱状。下位との境界は土砂状で不明瞭。部分的に産角(10°)が認められる。
6	7.05	87.17	1.45				D				95	0	0	φ 60mm パイプ		φ2~5mmの凝灰岩・流紋岩の産角・産角礫を含有。部分的にφ10~20mmの黒色頁岩を混在する。基質は中~粗粒凝灰岩よりなり、不明瞭ながら全体に上方細粒化を示す軟化層理が認められる。部分的に産角が10°前後に見られる。下位との境界はやや不明瞭。7.00m以下風化若く、土砂状を主体とするが、部分的に軟質短柱状に残る。7.00~9.50m間凝灰岩まで風化の進んだ短柱・柱状を主体とするが、部分的に産角(10°)の割れ目によって細粒化が進む。9.50m以下凝灰岩まで風化の進んだ短柱状を主体とし、下部ほど風化程度がやや弱くなる。10.05~10.20m間赤褐色平板状粘土(厚さ10mm, 90°)。
7	7.00						CL			1.05	95	0	0	φ 60mm パイプ		
8	8.00						CL				100	20	45			
9	8.00						CL				100	20	61			
10	10.50	85.67	2.10		火山礫凝灰岩		D				95	33	65	φ 60mm パイプ		
11	10.50						CL				90	11	21			不均質な粗~中粒凝灰岩主体で、上部0.00m間やや粗粒となる。10.50~10.83m間にφ10mm程度の黒色頁岩角礫を含有。下位との境界は土砂状で不明瞭。10.95~11.32m間φ80の割れ目発達し、岩片状。11.32m以下深風化が進み、11.65~12.00m間赤褐色風化粘土(35cm)。12.15~12.42m赤褐色~暗褐色風化粘土(厚さ27cm)。
12	11.32	84.57	1.46		凝灰岩 赤褐		D		5	11.32	100	0	0	φ 60mm パイプ		
13	12.78						D		4	12.78	95	0	0	φ 60mm パイプ		20cm程度の互層・細互層(10°)よりなり、下位との境界は未固結・固結時の乱堆積構造を伴い明瞭。14.84m以下全体にφ70~13.03~13.27m, 13.62~13.79m間赤褐色~暗褐色風化粘土。厚さはそれぞれ24cm, 17cmである。14.84m以下全体に風化進むが、縦短柱状。15.30m付近20°割れ目沿いに凝灰岩部軟質化。
14	13.24						D		6	13.24	90	0	0	φ 60mm パイプ		
15	14.84						CL		4	14.84	95	10	10			中~粗粒凝灰岩よりなり、軟化層理が認められる。16.42m以下は産角を不規則に混入し、斜交葉理、軽微な乱堆積構造が発達する。以深は10°の産角が発達する。下位との境界は岩片状で不明瞭。
16	16.40				凝灰岩 灰褐		CL		4	16.40	95	20	20			φ2~5mmの凝灰岩・流紋岩の産角・産角礫を混入し、φ10cm程度の黒色頁岩角礫が点在する。下位との境界は漸移し不明瞭。岩体まで風化進み、17.75~18.26m間は土砂状よりなり、17.77~17.43m間黒色頁岩挟住。
17	17.78						D		4	17.78	90	16	20			
18	18.26						D		7	18.26	90	16	20			
19	18.55	84.18	1.38		火山礫凝灰岩 斑黒灰褐色		D		4	18.55	99	0	0			全体にやや凝灰分を含有。部分的に薄層・塊状に混入。下位との境界は漸移的やや不明瞭。18.98m以下岩片状。18.98m以下深風化を主体とするが、部分的に割れ目密集し、短柱状を呈し、19.14m付近塊状に挟まれた、凝灰岩部の粘土化が認められる(厚さ10mm以下)。
20	19.93	82.70	1.17		黒色頁岩帯黒灰		CL		3	19.93	95	10	10			軟化層理・葉理(5~10°)発達する粗~中粒凝灰岩よりなり、20.42cm以下には頁岩・流紋岩の層理(厚さ10mm以下)散在。下位との境界は下位層(黒色頁岩)の削込み、取込みに伴い明瞭。20.30m以下風化若く、比較的硬質であるが、19.81m, 19.98m付近は割れ目が密集し、短柱状。20.86m以下凝灰岩まで風化進む部分多く、部分的に産角(10°)の割れ目発達し、一部短柱状。最下部付近、軟化若く。
21	21.10						CL		4	21.10	100	9	0	φ 60mm パイプ		
22	22.27	81.53	0.55		凝灰岩 斑灰淡褐		CL		7	22.27	100	13	13			部分的に凝灰分を薄層状(10°)に挟入。下位との境界は漸移的、不明瞭。軟化を伴う10°前後の割れ目が発達し、岩片・短柱状を主体とするが、22.35m, 22.53m, 22.69m, 23.14m, 23.66m付近45°前後の割れ目を伴い、一部短柱状。
23	23.82						CL		7	23.82	100	13	13			
24	24.05	80.15	1.42		黒色頁岩帯黒灰		CL		7	24.05	100	14	14			
25	24.47						CL		7	24.47	100	15	41			断々にφ7長さ30cm未満の黒色頁岩を、またφ2~20mmの流紋岩・凝灰岩、安山岩の産角・産角礫を含有。基質は産角を主体とする。下位との境界は漸移的。全体に7割程度を示し、部分的に細粒化を示す。24.94~25.18m, 25.28~25.80m間70~90°割れ目発達し、部分的に短柱状。
26	25.89						CL		3	25.89	100	9	0			
27	27.31	78.70	2.31		凝灰角礫岩 斑黒灰褐色		CL		7	27.31	100	18	28			塊状均質な岩盤。下位との境界は明瞭(50°)。
28	27.73	78.28	0.40		黒色頁岩 黒灰		CL		7	27.73	100	17	46			全体にφ2cm未満の黒色頁岩の産角を主体とする。以下はφ2~10mmの流紋岩・凝灰岩、安山岩の産角・産角礫を含有。基質は産角を主体とし、下位との境界は不明瞭。28.15~28.30m間70~90°産角発達し、一部短柱状。
29	29.74	76.29	1.97		凝灰角礫岩 斑黒灰褐色		CL		7	29.74	100	13	23			全体に割れ目が発達し、部分的に短柱状。
30	29.74						CL		7	29.74	100	13	23			7割程度にφ2cm未満の黒色頁岩の産角を含有。全体にφ2~10mmの流紋岩・凝灰岩、安山岩の産角・産角礫を含有。基質は産角を主体とし、下位との境界は不明瞭。31.22~31.32m間70~90°の割れ目発達し、部分的に短柱状。
31	31.22	74.07	0.35		凝灰角礫岩 斑黒灰褐色		CL		7	31.22	100	16	33			
32	31.57						CL		7	31.57	100	16	33			

孔口標高		T.P. +93.32 m		掘進長		114.00 m		調査期間		1998年 1月 29日 ~ 1998年 2月 26日		試験機軸		D2-G			
角度		—		方向		—		孔内水位		T.P. +89.80 m		孔内試験項目		孔内水平載荷・岩石・三軸・PS検層(ウツホ)・P波・S波			
標尺	深度	標高	層厚	柱状	地質	色調	岩級	コア形状	割れ	風化	コア採取	最大	R	孔径	孔内試験	記	事
(m)	(m)	T.P. (m)	(m)	図	種別		区分	土質記号 砂片状 柱状 状状状状状状	目	程度	率(%)	コア長 (cm)	(%)	φ	項目 深度(m)		
30																	
1	31.82	91.50	1.62		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	34	73				
2	31.14	91.18	0.52		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	15	30				部分的に割れ目発達し、粗片状を呈す。 上部の凝灰角礫岩層と同様の層状よりなるが、含有する黒色頁岩の量は極めて小さい傾向を示す。全体に褐色風化する。 33.90m付近に割れ目発達し、粗片状を呈す。
3	30.06	90.28	0.94		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	24	31				33.45~33.56m付近に10cm程度の風化層からなる含層部を有す。
4	28.96	89.37	0.67		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	25	33				φ2~20mmの凝灰岩、凝灰岩、安山岩、頁岩の角礫~地層を多く含む。34.75m以深にφ5~20mm程度の角礫が散在し、下部ほど集中度が高くなる。また全体に褐色風化する。下部との境界は漸移し不明瞭。34.75~26.53m間は凝灰角礫れ目が所々に発達し、部分的に粗片状を呈す。33.93~33.45m間褐色平板状(波曲)粘土(厚さ3mm、傾斜70~90°、層理面にはほぼ直交する)を有す。
5	27.71	88.47	0.71		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	43	71				
6	26.53	87.57	0.71		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	34	34				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。
7	25.21	86.67	1.41		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _L				100	29	74				要項(10)「不明瞭な中粒凝灰岩で部分的に凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
8	23.92	85.72	1.12		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	10	10				要項(10)「不明瞭な中粒凝灰岩で部分的に凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
9	22.60	84.80	1.12		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	37	57				要項(10)「不明瞭な中粒凝灰岩で部分的に凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
10	21.27	83.87	1.33		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	33	62				要項(10)「不明瞭な中粒凝灰岩で部分的に凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
11	19.94	82.94	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _L				100	26	26				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
12	18.61	82.01	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _L				100	19	55				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
13	17.28	81.08	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	23	80				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
14	15.95	80.15	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	27	74				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
15	14.62	79.22	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _L				100	22	22				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
16	13.29	78.29	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	18	29				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
17	11.96	77.36	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _L				100	67	92				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
18	10.63	76.43	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	85	100				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
19	9.30	75.50	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _H				100	49	96				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
20	7.97	74.57	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _L				100	29	51				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
21	6.64	73.64	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	22	53				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
22	5.31	72.71	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	58	74				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
23	3.98	71.78	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	60	90				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
24	2.65	70.85	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	20	78				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
25	1.32	69.92	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	46	85				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
26	0.00	69.00	0.93		凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _M				100	36	95				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
27					凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _L				100	18	53				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
28					凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _H				100	65	75				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」
29					凝灰角礫岩	黒色頁岩	C _H				100	51	100				凝灰分を多く含む黒色頁岩で所々凝灰分優勢となる部分を薄層~塊状に挟み、38.64~38.84m間凝灰質頁岩で貫通(10°)が発達。下部との境界は漸移し不明瞭。38.25m、38.60m、39.10m付近に割れ目が発達し、粗片状を呈す。全体に割れ目は酸化を伴う部分が多いが、38.35m付近凝灰岩主体部は酸化が著しく粗粒化が著しい。」

孔口標高		I.P. +93.32 m		掘進長		144.00 m		調査期間		1998年 1月 29日 ~ 1998年 2月 26日		試錐機域		D2-G				
角度		—		方向		—		孔内水位		I.P. +89.80 m		孔内試験項目		孔内水平載荷・岩石・三軸・PS検層(ダウナー)・RQD・RTR				
標尺	深	標	層	柱	地	色	岩	コア形状	割	風	コア	最大	R	孔径	孔内試験	記	事	
(m)	(m)	T.P. (m)	(m)	状	質	調	級	上端短柱長 砂付柱長 成状状状状	れ	化	採取	コア	Q	ビット	項目			
60																		
1						淡緑灰			α	1	100	85	100			<p>φ1~3mmの細長石質片が発達し、φ1~3mmの輝石が中央部にやや多く存在し、50~59m以下、85.2m以下にはφ2~4mmの方解石(空胞充填)発達、67.71m以下ではこれらの扁平化が認められる。下位との境界は40°前後で滑りし明瞭。急冷層は上面2mm、下面3~5mm程度あり、下面酸化を伴う。60~90°の方解石脈が部分的に発達。部分的に割れ目に向けて酸化汚染が認められ、68.61~68.95m間酸化を伴う70~90°割れ目発達し、一部短片状、62.00~62.21m間方解石脈、酸化を伴う70°割れ目、66.45~66.64m間酸化を伴う70°割れ目、67.92m付近40°割れ目発達し、割れ目に向けて酸化著しい。68.28~68.68m、66.27~66.83m間φ2~3mm酸化鉱物散在。</p>		
2						帯緑灰			β	2	100	51	96					
3						帯緑灰			α	1	100	37	94					
4						淡緑灰	C11		α	1	100	34	100					
5						帯緑灰			β	2	100	44	100					
6						淡緑灰			α	1	100	100	100					
7						帯緑灰			β	2	100	44	100					
8	14.91	21.31	7.01		安山岩	淡緑灰	67.88		α	1	100	83	88				<p>形質は凝灰質頁岩からなり、泥分優勢部を挟み、所々褐色酸化。 凝灰分を少量含む。下位境界は不明瞭。全体に微細な方解石(φ1~2mm)を伴う10mm以下の角礫~扁平状に多く存在。 部分的に凝灰分を凝結~塊状に混入。下位との境界は滑りし不明瞭。70.18~70.57m間一部酸化を伴う80~90°割れ目発達し、部分的に短片状、70.35m、70.38m付近φ2~3mm酸化鉱物が短片状に発達。70.18m、70.56m付近石炭質の層状集積。 70.66m以下は凝灰分主体部とした主体部(φ10°)よりなるが、以後は凝灰分主体部構造を示す。下位との境界は滑りし不明瞭。 厚さ1~2mmの軽石層を多く含む。厚さ2~10mmの頁岩角~扁平状に点在する中~粗粒凝灰岩で、部分的に凝灰が混入となる。10~30°葉理発達。下位との境界は明瞭(20°)。71.18~71.22m間暗緑灰色の扁平状石を混入し、71.30m以下にはφ3~5mmの片状角礫~無円礫を多く混入。71.70m以下全体に酸化汚染が認められ、著しい酸化を伴う葉理(20~30°)割れ目発達。72.45~74.99m、75.13~75.19m、76.85m以下凝灰質が泥質で、74.54~74.67m間石炭質の集積が顕著で、75.13~75.19m間にφ2~10mmの炭質頁岩~厚さ1mm程度多く混入。74.87~74.80m間軽微な酸化を伴う70~90°葉理目発達。75.10m間10°割れ目割れ目に細粒化。</p>	
9	18.20	21.91	0.31		凝灰質頁岩	暗灰	68.78		β	2	100	20	57					
10	19.12	21.91	0.46		黒色頁岩	黒灰	69.38		α	1	100	20	57					
11	20.41	22.91	0.71		凝灰質頁岩	暗緑灰	70.38		α	1	100	15	78					
12	20.09	22.91	1.4		黒色頁岩	黒灰	70.10		α	1	100	23	68					
13	18.15	21.34	0.57		凝灰質頁岩	暗緑灰	70.66		β	2	100	24	70					
14					凝灰質頁岩	暗灰	71.70		α	1	100	33	87					
15					凝灰質頁岩	暗灰	72.70		α	1	100	59	88					
16					凝灰質頁岩	暗灰	74.43		α	1	100	43	98					
17	15.09	14.30	1.79		凝灰質頁岩	緑灰	74.88		α	1	100	27	79					
18					凝灰質頁岩	暗灰	75.10		α	1	100	36	82					
19	18.18	15.08	1.35		凝灰質頁岩	暗灰	75.47		α	1	100	25	73					
20					凝灰質頁岩	暗灰	76.5		α	1	100	57	74					
21	30.01	3.25	1.77		黒色頁岩	黒灰	76.71		α	1	100	40	94					
22					凝灰質頁岩	暗灰	77.47		α	1	100	37	86					
23	87.27	11.05	1.74		凝灰質頁岩	暗灰	78.5		α	1	100	14	78					
24	82.15	10.07	1.33		凝灰質頁岩	暗灰	81.25		α	1	100	59	90					
25	82.17	9.75	0.73		凝灰質頁岩	暗灰	81.25		α	1	100	25	57					
26	84.04	8.88	1.01		凝灰質頁岩	暗灰	81.25		α	1	100	34	60					
27	81.11	8.22	0.47		凝灰質頁岩	暗灰	81.25		α	1	100	75	98					
28					凝灰質頁岩	暗灰	81.25		α	1	100	52	97					
29	87.82	6.10	0.48		凝灰質頁岩	暗灰	81.25		α	1	100	23	86					
30					凝灰質頁岩	暗灰	81.25		α	1	100	62	81					
31					凝灰質頁岩	暗灰	81.25		α	1	100	22	68					

孔口標高		T.P. +93.32 m		掘進長		144.00 m		調査期間		1998年1月29日 ~ 1998年2月26日		試験機材		DZ-G			
角度		—		方向		—		孔内水位		T.P. +89.80 m		孔内試験項目		孔内水平線・岩石・三軸・PS被覆(7.3m)・ボアホール			
標尺	深度	標高	層厚	柱状	地質	色調	岩級	コア形状	割れ目	風化	コア採取率	最大コア長	RQD	孔径	孔内試験	記	事
(m)	(m)	T.P. (m)	(m)	図	種別		区分	土質短柱状 砂状柱状 泥状柱状	目状	程度	(%)	(m)	(%)	ボア 37mmφ	項目 深度(m)		
90	93.61	93.32	0.61		白色頁岩	黒灰					100	74	94				その厚さを含み、部分的に薄層状に多く含む(70°)。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
1	93.55	93.19	0.81		凝灰質頁岩	黒灰	C-II				100	47	99				全体に凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
2	93.42	93.10	0.30		凝灰質頁岩	黒灰					100	75	100				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
3	93.25	92.97	0.30		大山礫凝灰岩	黒灰					100	43	100				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
4	93.30	92.84	0.28		凝灰質頁岩	黒灰					100	63	79				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
5	93.32	92.81	0.42		凝灰質頁岩	黒灰	C-M				100	24	41				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
6	93.25	92.82	0.32		凝灰質頁岩	黒灰					100	31	63				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
7	93.38	92.80	0.63		凝灰質頁岩	黒灰					100	2	71				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
8	93.20	92.85	0.35		凝灰質頁岩	黒灰					100	40	74				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
9	93.35	92.81	0.54		凝灰質頁岩	黒灰					100	34	100				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
100	93.02	92.81	0.21		凝灰質頁岩	黒灰					100	65	96				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
1	92.40	92.38	0.02		凝灰質頁岩	黒灰	C-II				100	82	100				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
2	92.21	92.25	0.04		凝灰質頁岩	黒灰					100	42	85				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
3	92.12	92.21	0.09		凝灰質頁岩	黒灰					100	33	86				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
4	92.05	92.12	0.07		凝灰質頁岩	黒灰					100	44	61				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
5	91.97	92.09	0.12		凝灰質頁岩	黒灰	C-M				100	29	29				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
6	91.78	92.02	0.24		凝灰質頁岩	黒灰					100	23	54				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
7	91.51	92.05	0.54		凝灰質頁岩	黒灰					100	40	75				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
8	91.31	92.02	0.71		凝灰質頁岩	黒灰	C-II				100	34	84				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
9	91.12	92.02	0.90		凝灰質頁岩	黒灰					100	35	66				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
100	90.87	91.55	0.68		凝灰質頁岩	黒灰					100	39	74				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
1	90.70	91.31	0.61		凝灰質頁岩	黒灰	C-II				100	40	84				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
2	90.51	91.06	0.55		凝灰質頁岩	黒灰					100	40	84				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
3	90.31	90.83	0.52		凝灰質頁岩	黒灰					100	43	90				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
4	90.12	90.78	0.66		凝灰質頁岩	黒灰					100	25	96				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
5	89.93	90.45	0.52		凝灰質頁岩	黒灰					100	25	96				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
6	89.74	90.19	0.45		凝灰質頁岩	黒灰					100	54	89				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
7	89.55	89.90	0.35		凝灰質頁岩	黒灰					100	39	86				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
8	89.36	89.52	0.16		凝灰質頁岩	黒灰					100	52	89				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
9	89.17	89.36	0.19		凝灰質頁岩	黒灰					100	67	90				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。
120	88.98	89.17	0.19		凝灰質頁岩	黒灰	C-II				100	43	100				凝灰質を多く含む。部分的に薄層状に多く含む。下位との境界は漸移し、不明瞭。最大厚さ1.5mの層状に属する。

No. 324 孔 (5/5)

孔口標高		T.P. 193.32 m		掘進長		144.00 m		調査期間		1998年1月29日 ~ 1998年2月25日		試験機械		D2-G		
角度		方向		孔内水位		T.P. 189.80 m		孔内試験項目		孔内水平載荷・岩石三軸・PS検層(9/23-4)・375-LTV						
標尺 (m)	深 度 (m)	標 高 T.P. (m)	層 厚 (m)	柱 状 図	地 質 種 別	色 調	岩 紋 区 分	コア形状 土層岩層砂層 砂層柱状伏状	割 れ 目 状 態	風 化 程 度	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	孔径 ビット 175-7	孔内試験 項目 深度(m)	記 事
120	120.11	28.82	0.11		黒色頁岩											
1	120.20	27.45	0.43		凝灰岩 暗緑灰						100	96	100		PS検層 (クワンホール) ボアホール T.V.	上部ほど泥分を多く含む細粒凝灰岩よりなり、酸化層理が認められる。下位との境界は明瞭、著しく波曲する。凝灰岩凝灰岩を不規則な流線状に挟み、下位との境界は著しく明瞭を示し、その間、121.32~121.53mに凝灰岩で、φ2~30mmの流線状凝灰岩、石灰質の凝灰岩を含む。126.50m、126.35m、128.71mにφ2~30mmの凝灰岩。
2	121.18	24.17	0.89		黒色頁岩 黒黒緑灰						100	33	92			全体に正質凝灰質頁岩で、上部に黒色頁岩を不規則に挟む。全体に流線状構造を示し、その間、121.32~121.53mに凝灰岩で、φ2~30mmの流線状凝灰岩、石灰質の凝灰岩を含む。126.50m、126.35m、128.71mにφ2~30mmの凝灰岩。
3	122.33	23.01	0.51		凝灰岩 暗緑灰						100	37	81			全体に正質凝灰質頁岩で、上部に黒色頁岩を不規則に挟む。全体に流線状構造を示し、その間、121.32~121.53mに凝灰岩で、φ2~30mmの流線状凝灰岩、石灰質の凝灰岩を含む。126.50m、126.35m、128.71mにφ2~30mmの凝灰岩。
4	122.26	23.34	0.57		黒色頁岩 暗緑灰						100	44	100			φ2~10mm(最大50mm)の頁岩、凝灰岩、石灰質の凝灰岩の角~直角を不均一に含む。基質は凝灰質を主体とし、部分的に泥分主体となる。所々に見かけ凝灰岩の塊状の黒色頁岩を挟む。下位との境界は明瞭(概ね30°)。
5	124.23	21.31	1.21		火山凝灰岩 黒白緑黒						100	23	88			部分的に20mm以下の粗塊、扁平塊を含む層部を不規則に挟む。下位との境界は漸移し不明瞭。125.36m付近15°割れ目合いに細粒化。
6	125.38	19.26	1.20		黒色頁岩 黒白緑						100	18	72			126.81m以下基質が泥質である。132.73m以下はφ2~40mmの凝灰岩、流線状凝灰岩の角~直角を多く含む。以下はφ2~30mmの流線状凝灰岩の角~直角を多く含む。凝灰岩質火砕岩からなる凝灰質凝灰岩。流線状凝灰岩は部分的に流線構造が認められ、流線方向は著しく波打つ部分が多く、一定でない。前者の境界付近は漸移的である。
7					推白結晶						100	30	100			129.83m、131.35m付近φ15~20mmの火砕岩塊を帯在し、131.41~132.79mφ2~10mm(最大10cm程度)の火砕岩の角~直角を主体とする。
8											100	37	100			131.23m、132.48m付近20、30°の割れ目合いに細粒化。
9											100	50	100			134.45m、135.16m、138.29m、138.23m、139.19m付近φ3~30mmの流線状凝灰岩の角~直角を多く含む。
10											100	36	100			137.55m付近凝灰岩や破砕質で格子状の方解石塊発達。138.71m付近同様のφ20mm角塊を帯在し、前後60cm程度に著しく自由した流線構造発達。φ1~3mm空疎点なし。138.45m付近空疎集中し、φ30mm程度の不定形な虫食い状の孔が認められる。
11											100	95	100			
12											100	44	85		φ 50mm φ 117mm	
13											100	32	87			
14											100	100	100			
15											100	60	100			
16											100	48	92			
17											100	40	97			
18											100	52	100			
19											100	90	96			
20											100	78	91			
21											100	69	100			
22											100	68	97			
23											100	52	100			
24	144.00	20.14	18.57		凝灰岩 黒白凝灰岩						100	44	100		43.60	144.00

No. 362 孔



No. 362 孔 (1/2)

孔口標高		T. P. +96.80 m		掘進長		56.00 m		調査期間		1998年 4月 30日 ~ 1998年 5月 13日		試錐機械		D2-G			
角度		方向		孔内水位				孔内試験項目				記		事			
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T. P. (m)	層厚 (m)	柱状図	地質種別	色調	岩級区分	コア形状 土短岩短柱状 砂片片柱状 状状状状状状	割れ目状態	風化程度	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	孔径 ビット コア	孔内試験 項目 深度 (m)	記	事
0	0.40	96.40	0.40		砂質土												植物根を混入する表土。
1	2.05	94.75	1.65		凝灰岩	黄褐色	D			5	100	0	0	φ 86mm ダット			部分的に泥分を含む凝灰岩。風化著しく粘土~粘土混り砂礫を呈する。 0.97~2.30m間φ10~30mmの岩片は風化受けるが、比較的硬質で岩石組織明瞭。 2.30m以降はφ5~20mmの角礫も風化軟質である。下位との境界は土砂状コアにより不明瞭。
2	3.40	93.40	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	0	0				泥分主体。3.18m以降、割れ目発達し、短片状。部分的に風化凝灰岩存在。3.18m以降、凝灰岩との互層状呈し、10°前後の割れ目認められる。不明瞭な割れ目発達し、短片状。凝灰岩部では岩まで軟質。下位との境界は不明瞭。
3	4.70	92.10	1.30		凝灰岩	暗褐色	D			5	90	0	0				細~中粒凝灰岩。下位との境界は不明瞭。部分的に葉理面が認められる(10~20°)。 4.00m以降は強風風化により粘土化する。
4	6.05	90.75	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	8	0				φ5mm前後の流紋岩、凝灰岩の灰白~緑灰色風化礫が散在する火山凝灰岩。 9.86m, 9.14mを基底とする2層の不明瞭な風化層認められる。コアは全体に粘土化する。 7.93m以降は指圧にて土砂化する部分が多い。下位との境界は明瞭(10°)。
5	7.40	89.40	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	100	21	15	φ 86mm ダット			
6	8.75	88.05	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	100	14	25				
7	10.10	86.70	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	100	15	28				
8	11.45	85.35	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	100	0	0	φ 86mm ダット			細~中粒凝灰岩。下位との境界は風化短片状コアにて不明瞭。全体に岩芯まで風化が進み軟質。 10.41m以降は指圧にて土砂化する。 9.95~10.23m間は凝灰質頁岩主体で粘土分を混入する短片状を呈する。
9	12.80	84.00	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	100	0	0	φ 86mm ダット			11.15~11.20m, 11.49~11.76m間は葉理(10~20°)の発達する細~中粒凝灰岩。凝灰分を含む黒色頁岩主体。割れ目が密集し短片~岩片状コア。部分的に粘土化が認められる。下位との境界、短片状コアにて不明瞭。
10	14.15	82.65	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	0	0	φ 86mm ダット			細~中粒凝灰岩よりなり、割れ目密集し短片状。下位との境界は不明瞭。凝灰分を含んだ黒色頁岩と細~中粒凝灰岩の10cm以下の互層よりなり、12.80m以降は細互層状(10~20°)を呈す。各層の境界部は削り込み、軽微な乱層構造の発達する部分が多い。下位との境界は互層状を呈し不明瞭。13.12m以降、不明瞭な割れ目多発し、短片状コアを主体とし、部分的に細粒化が進む(凝灰岩部で多い)。13.12m以降、割れ目の割れ目が顕著し、短片~岩片状コアを主体とする。13.30m, 14.17m付近では細粒化が著しく、13.68~13.88m間凝灰質平板状粘土(厚さ10mm, 10°)。14.18m以降、頁岩部にφ1mm以下の凝灰質粒を多く混入。
11	15.50	81.30	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	0	0	φ 86mm ダット			全体に凝灰分を不均一に含み、部分的に凝灰岩を薄層~層~互層状に多く挟在(10~20°)。下位との境界は漸移的で不明瞭。全体にやや風化を受けるが硬質。凝灰岩部は褐色風化が進む。10°前後の割れ目が発達し、岩片状コアを主体とするが、80°前後の割れ目を伴い短片状を呈する部分も多い。15.41~15.47m間褐色平板状粘土(厚さ50mm, 10°)。
12	16.85	79.95	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
13	18.20	78.60	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
14	19.55	77.25	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
15	20.90	75.90	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
16	22.25	74.55	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
17	23.60	73.20	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
18	24.95	71.85	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
19	26.30	70.50	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
20	27.65	69.15	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
21	29.00	67.80	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
22	30.35	66.45	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
23	31.70	65.10	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
24	33.05	63.75	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
25	34.40	62.40	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
26	35.75	61.05	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
27	37.10	59.70	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
28	38.45	58.35	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
29	39.80	57.00	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
30	41.15	55.65	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
31	42.50	54.30	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
32	43.85	52.95	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
33	45.20	51.60	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
34	46.55	50.25	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
35	47.90	48.90	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
36	49.25	47.55	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
37	50.60	46.20	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
38	51.95	44.85	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
39	53.30	43.50	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
40	54.65	42.15	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
41	56.00	40.80	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
42	57.35	39.45	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
43	58.70	38.10	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
44	60.05	36.75	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
45	61.40	35.40	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
46	62.75	34.05	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
47	64.10	32.70	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
48	65.45	31.35	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
49	66.80	30.00	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
50	68.15	28.65	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
51	69.50	27.30	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
52	70.85	25.95	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
53	72.20	24.60	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
54	73.55	23.25	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
55	74.90	21.90	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
56	76.25	20.55	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
57	77.60	19.20	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
58	78.95	17.85	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
59	80.30	16.50	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
60	81.65	15.15	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
61	83.00	13.80	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
62	84.35	12.45	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
63	85.70	11.10	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
64	87.05	9.75	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
65	88.40	8.40	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
66	89.75	7.05	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
67	91.10	5.70	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
68	92.45	4.35	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
69	93.80	3.00	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
70	95.15	1.65	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
71	96.50	0.30	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
72	97.85	-1.05	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
73	99.20	-2.40	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
74	100.55	-3.75	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
75	101.90	-5.10	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
76	103.25	-6.45	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
77	104.60	-7.80	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
78	105.95	-9.15	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
79	107.30	-10.50	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
80	108.65	-11.85	1.35		凝灰岩	暗褐色	D			5	95	9	0				
81	110.00	-13.20															



GL= 11366 m

L= 5800 m

標尺 m	深 度 m	標 高 m	柱 状 図	地 質 名	色 調	ピ ット の 種 類	コアの形状			コア 採 取 率 %	最 大 コ ア 長 cm	平 均 コ ア 長 cm	岩 粒 分 類 D C ₁ C ₂ C ₃ C ₄	記 事
							短 柱 状	長 柱 状	片 状					
1	1.68	11198	△	風化土	褐色 淡緑色	メタル クラウン								
2			× ×	凝灰岩	灰 色								風化顯著 2.45~2.80m 黒色頁岩	
3			× ×	凝灰岩	灰 色									
4	4.00	10966	× ×	凝灰岩	灰 色									
5			斜線	黒色頁岩	黒灰 色					5	岩 片		細片状	
6	5.30	10836	× ×	凝灰岩	灰 色								5.30~6.40m 葉理発達	
7			× ×	凝灰岩	灰 色								6.40~7.80m 堅硬であるが剥離面は風化	
8	7.80	10586	× ×	凝灰岩	灰 色									
9	8.25	10541	斜線	黒色頁岩	黒灰 色									
10	9.00	10466	× ×	凝灰岩	灰 色					10	岩 片 2 5		頁岩でクラッキー	
11	9.30	10426	斜線	黒色頁岩	黒 色									
12			× ×	凝灰岩	灰 色								頁岩で下部はクラッキー	
13			× ×	凝灰岩	灰 色								10.50~10.80m 黒色頁岩	
14	12.76	10090	× ×	凝灰岩	灰 色								剥離面は水平	
15			斜線	黒色頁岩	黒 色									
16	14.47	9919	斜線	黒色頁岩	黒 色									
17			× ×	凝灰岩	灰 色									
18	16.55	9711	× ×	凝灰岩	灰 色									
19			斜線	黒色頁岩	黒 色					20	岩 片 2 15		17.30~17.80m 凝灰岩	
20			斜線	黒色頁岩	黒 色								19.65~19.80m 凝灰岩	
21			斜線	黒色頁岩	黒 色								19.80~22.10m 岩片状	
22	22.10	9156	斜線	黒色頁岩	黒 色									
23			× ×	凝灰岩	灰 色								斜同性顕著	
24	24.20	8946	× ×	凝灰岩	灰 色								22.82~23.20m 黒色頁岩	
25			斜線	黒色頁岩	黒 色									
26			斜線	黒色頁岩	黒 色					10	岩 片 2 5			
27			斜線	黒色頁岩	黒 色									
28	28.72	8494	斜線	黒色頁岩	黒 色								28.50~28.72m 岩片状	
29	29.55	8411	× ×	凝灰岩	褐 色								28.72~28.80m 褐色で細片状	
30	30.40	8326	斜線	黒色頁岩	黒 色					25	岩 片 2 10		岩片状	

GL= 113.66 m

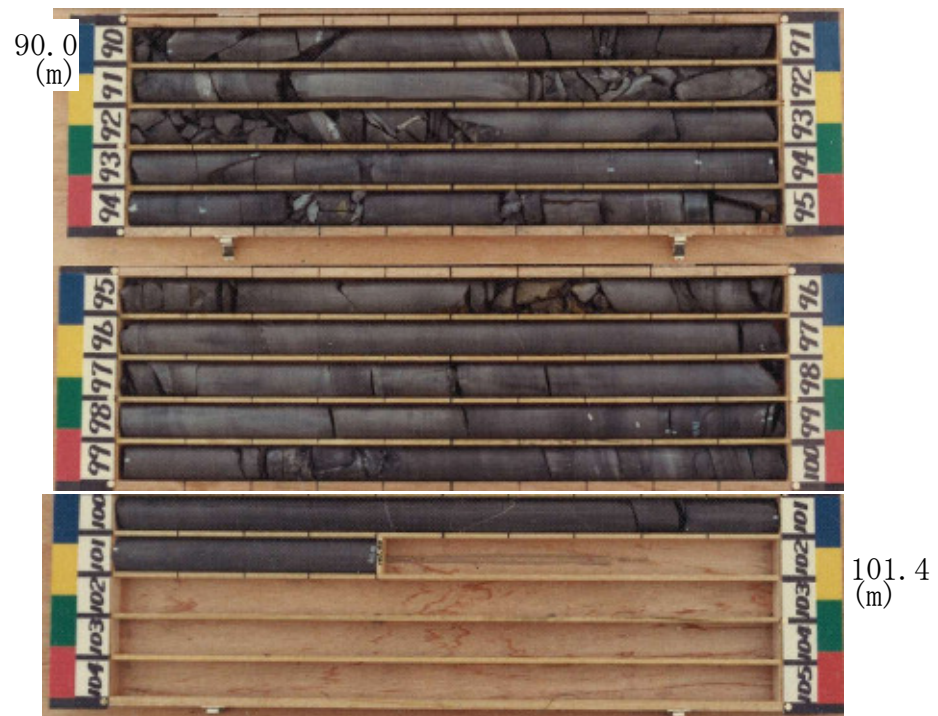
L= 58.00 m

標尺 m	深 度 m	標 高 m	柱 状 図	地 質 名	色 調	ピ ット の 種 類	コアの形状			コア 採取 率 %	最 大 コア 長 cm	平 均 コア 長 cm	岩 級 分 類 D C ₁ C ₂ G ₁	記 事
							短 片 状	短 柱 状	長 柱 状					
	30.40	83.26		黒色頁岩	黒色									
31			△ ×	凝灰角礫岩	青灰〜緑灰色								風化しやや軟質 31.45~31.0m 黒色頁岩	
32			△ ×								岩片 10			
33	32.60	81.06		黒色頁岩	褐色								32.60~35.50m 岩片状 赤紋岩質角礫を含む	
34														
35														
36														
37	36.90	76.76												
38			△ ×								岩片 7		37.50~38.00m 軟弱で岩片状 全体に褐色を帯び堅硬であるが断面は風化し ている	
39			△ ×											
40			△ ×											
41			△ ×											
42			△ ×											
43			△ ×	凝	褐									
44			△ ×	灰	白									
45			△ ×	角	緑									
46			△ ×	礫	灰									
47			△ ×	岩	色									
48			△ ×											
49			△ ×											
50			△ ×											
51			△ ×											
52			△ ×											
53			△ ×											
54			△ ×											
55			△ ×											
56			△ ×											
57			△ ×											
58	58.00	55.66												

0.0
(m)



90.0
(m)



標高		高		実施者名		GH = +101.07m		基準		孔内水位		GL -		事								
標尺 (m)	標高 (m)	深 (m)	層厚 (m)	地質記号	地質名	色調	岩盤区分	最大コア径 (cm)	平均コア径 (cm)	コア採取率	簡理頻度 (分)	R	Q	D	掘削条件	掘進速度 (m/分)	サ深	コ形	状	記		
1					崖線地塊物	黄褐色				0.70	-	-	-	-	ミニブルコ					0.00~0.20m 腐植土、草根混入。 0.20~3.93m 硬質リソソ 種2~100mmの硬岩、硬灰岩片と 砂質粘性土から成る		
2						褐色				1.40	-	-	-	-								
3						黄灰褐色				2.40	-	-	-	-								
4	+97.44	3.93	3.73			暗褐色				0.00	-	-	-	-								
5	+96.07	5.30	1.37		凝灰岩	暗褐色	D	3	3.4	1.00	+	0								3.93~4.64m 酸化が著しくコアは軟弱である 4.64~5.30m 凝灰岩の硬質で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し劣 化している。		
6					凝灰岩	褐色	D	7	7.0	1.00	+	10									5.30~7.83m 風化し、硬質化し、硬質である 6.35~6.90m 風化が著しく、軟弱化し、土砂状 になっている。	
7					凝灰岩	褐色	D	7	7.0	1.00	+	0										
8	+93.54	7.83	2.53		凝灰岩	褐色	D	7	7.0	1.00	+	0									7.83~9.90m 褐色凝灰岩と、硬質化の凝灰岩と 凝灰岩の硬質で、著しくクラックで割れ、粗 粒状と見られる。電線面は風化している。 8.59~8.70m は、灰色凝灰岩である。	
9	+92.37	9.00	0.65		凝灰岩	灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
10	+91.47	9.70	0.90		凝灰岩	灰色	D	7	7.0	1.00	+	10									9.90~12.15m 凝灰岩の硬質で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。	
11					凝灰岩	灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
12	+89.22	12.15	2.25		凝灰岩	灰色	D	7	7.0	1.00	+	0									12.00~12.70m 凝灰岩の硬質で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。	
13	+88.67	12.70	0.55		凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	10									12.70~13.05m 凝灰岩の硬質で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。凝灰岩の一部風化している。13.15~13.40m は、内層状のコアとなっている。	
14	+87.52	13.85	1.15		凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0									13.40~14.15m 凝灰岩の硬質で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。14.15~14.10m 凝灰岩の硬質で、著しく クラックで割れている。	
15	+86.27	15.10	0.95		凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0									15.10~19.00m 凝灰岩の硬質で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。15.56~16.75、17.7~18.22m で、硬質 化している。他の部分では、粗粒状と見られ ている。15.36~16.75m では、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。 18.22~18.55m、18.72~18.97m は、凝灰岩 で、著しくクラックで割れている。	
16					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
17					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
18					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
19	+82.34	19.00	3.90		凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0									19.00~20.30m 凝灰岩の硬質で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。 19.00~19.20m では、凝灰岩の硬質で、著しく クラックで割れている。	
20	+81.07	20.30	1.70		凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0									20.30~20.80m 凝灰岩の硬質で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。	
21	+80.57	20.80	0.50		凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	10									20.80~20.15m 凝灰岩の硬質で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。傾斜は50度である。	
22					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0									22.05~26.80 凝灰岩の硬質で、著しくクラックで割れ、粗 粒状と見られる。コアは、凝灰岩の硬質で、著 しくクラックで割れている。25.9~26.8m では、 5ヶ所に割れ目がある。	
23					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
24					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
25					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
26					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
27					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
28	+73.42	27.95	2.15		凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0									27.95~29.95m は、凝灰岩で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。一部硬質化している。	
29					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										
30					凝灰岩	暗灰色	D	7	7.0	1.00	+	0										29.95~32.60m 凝灰岩の硬質で、著しくクラック で割れ、粗粒状と見られる。電線面は風化し ている。傾斜は50度である。 31.3~32.2m の高角層の凝灰岩は、風化し ている。

標高		+101.07 ^m		基準		GL-											
実施者		新井 隆		孔内水位		m											
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	地質記号	地質名	色調	岩盤区分	最大コア長 (cm)	平均コア長 (cm)	コア採取率	簡理頻度 (1/m)	RQD	掘削条件	掘進速度 (m/min)	サクションリンゲ	コアの形状	記
31							Ch	46	10		1	24					
32							Ch	32.00	15	100	0.90	4	22				
33							Ch					1	68				
34							Ch					0	86				
35							Tu	63	20	100	0.80	2	91				
36							Ch					1	94				
37												1	21				
38							Ch					2	92				
39							Ch	25	15	100	0.924	6	80				
40							暗灰色	40.0				+	22				
41							Ch	75	5	100	1.2	4	100				
42							淡	42.2	35			+	100				
43							Ch	17	10	100	0.80	+	46				
44								46.80				+	21				
45												0	100				
46							Ch	107	15	100	1.4	4	95				
47								2	70			+	90				
48								48.00				+	67				
49							Ch	25	2	100	0.90	+	68				
50								50.15	10	100	1.0	2	91				
51								50.15	8	100	1.70	+	100				
52												0	97				
53												2	81				
54												4	98				
55							Ch	150	20	100	1.2	2	100				
56												1	96				
57												0	100				
58							明灰色					4	84				
59												2	64				
60							暗灰色					+	81				

32.60~38.00m 淡緑色凝灰岩質凝灰岩, Ch 級。コアは概ね棒状である。全体の大半は褐色を呈したが、珪化し、岩石は堅硬である。32.60~32.80m 時に珪化が著しい凝灰岩である。32.80~33.20m 粒径 1cm 程度の火山岩片が散在する。33.20~37.45m 最大粒径 5cm の火山岩片が散在する。37.45~37.67m 時に珪化が著しい凝灰岩である。37.67~38.00m 最大粒径 5cm の火山岩片が散在する。

38.00~40.00m 淡緑色凝灰岩質凝灰岩 Ch 級。岩石は堅硬である。コアは棒状である。最大粒径 5cm の火山岩片が散在する。38.00~39.20m Ch 級。岩石は堅硬である。若干のクラックあり。コアは棒状である。断面が珪化している。

39.20~39.67m Ch 級。岩石は堅硬である。若干のクラックあり。コアは棒状である。39.67~39.92m 薄層状の暗灰色凝灰岩である。39.92~40.00m 淡緑色凝灰岩質凝灰岩 Ch 級。淡褐色を呈している。岩石は堅硬である。コアは棒状である。

40.00~41.00m 淡緑色凝灰岩質凝灰岩 Ch 級。淡褐色を呈している。岩石は堅硬である。コアは棒状である。41.00~42.20m 淡緑色凝灰岩 Ch 級。褐色を帯びた凝灰岩は堅硬である。断面は珪化している。コアは棒状である。

42.20~42.80m 淡緑色凝灰岩 Ch 級。岩石は堅硬である。断面は珪化している。42.80~42.95m Ch 級。棒状。クラックあり。岩石は脆い。

42.95~43.80m 淡緑色凝灰岩 Ch 級。淡褐色を呈した岩石は堅硬である。若干の空隙が散在し、岩石が露出している。断面は少くとも珪化している。

43.80~48.00m 淡緑色凝灰岩 Ch 級。淡褐色を呈した岩石は堅硬である。若干の空隙が散在し、岩石が露出している。断面は少くとも珪化している。

48.00~50.15m 淡緑色凝灰岩 Ch 級。淡褐色を呈した凝灰岩は堅硬である。若干のクラックがある。

50.15~50.65m 淡緑色凝灰岩 Ch 級。岩石は脆く若干のクラックがある。

50.65~58.06m 淡緑色凝灰岩 Ch 級。岩石は堅硬である。若干の空隙がある。50.65~52.05m 淡褐色を呈した凝灰岩は堅硬である。断面は珪化している。52.05~58.06m は薄層状の明灰色凝灰岩である。

58.06~59.92m 凝灰岩凝灰岩。岩石は堅硬である。コアは長い。

No. 329 孔 (4/4)

標高		GH = 101.57 m		基準																		
実施者名		渡島幹夫		孔内水位 GL - m																		
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	地質記号	地質名	色調	岩盤区分	最大コア長 (cm)	平均コア長 (cm)	採取率 (%)	簡理傾度 (°/m)	RQD (%)	掘削条件	掘進速度 (m/min)	深さ (m)	コア採取	備考					
91					黒色頁岩	暗灰色	Ca 62	90.00									91.60~92.50m Ca 級 頁岩の堅硬であるが 77% である。傾斜は約 15° 91.60~91.90m の層には 厚い粘土層がある。					
92										100	91.10	+	61									
93											100	92.00	+	49								
94											100	92.24	+	42								
95											100	95.00	2+	21							94.25~94.33m Ca mm CL 級 コアは堅硬であるが 73% であり コアは若干傾斜している。 94.58~94.65m Ca 級 コアは堅硬であるが 77% である。	
96											100	96.00	+	48								95.52~95.72m Ca 級 コアは堅硬であるが 77% である。層面は更褐色に汚染されている。
97																						
98																						
99											100	98.91	(1)	100								99.22~99.38m Ca 級 コアは堅硬であるが 75% である。 厚さ 1cm の灰色粘土層がある (傾斜は約 15°)。
100																						
101	-0.03	101.40	16.00																			
102																						
13																						
14																						
15																						
16																						
17																						
18																						
19																						
20																						
21																						
22																						
23																						
24																						
25																						
26																						
27																						
28																						
29																						
30																						

90.0
(m)



0

No.103 孔 (1/3)

GL= 87.12 m

L= 70.00 m

標尺 m	深 度 m	標 高 m	柱 状 図	地 質 名	色 調	ピ ット の 種 類	コアの形状			コア 採取 率 %	最 大 コア 長 cm	平 均 コア 長 cm	岩 統 分 類 D C _L C _M C _B	記 事
							短 片 状	長 柱 状	長 片 状					
1			△	風 化 土	黄 褐 色	メ タル クラ ウン							砂 礫 混 り 粘 土	
2	2.60	8.452	△ △											
3				黒 色 頁 岩	暗 灰 色	ダ イ ヤ モ ン ト ビ ツ ト			5	粘 土 と 岩 片			クラ ッキー で 採 取 率 50% 以 下	
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20	20.45	66.67												
21			△ ×											凝 灰 角 礫 岩
22			△ ×	20.45~20.87m 粘土を伴う										
23			△ ×	23.60~24.00m 節理面は風化している										
24			△ ×											
25			△ ×		24.57~24.85m 岩片状									
26			△ ×		25.00~25.73m 岩片状									
27			△ ×											
28			△ ×											
29			△ ×											
30			△ ×											

No.103 孔 (2/3)

GL= 87.12 m

L= 70.00 m

標尺 m	深 度 m	標 高 m	柱 状 図	地 質 名	色 調	ピントの種類	コアの形状				コア採取率 % 20 40 60 80	最大コア長 cm	平均コア長 cm	岩 紙 分 類 D C _L C _M C _H	記 事
							短片状	岩片状	柱状	長柱状					
31			△ ×												節理面は風化している
32			△ ×												
33			△ ×												
34			△ ×												
35			△ ×												
36			△ ×												
37			△ ×	凝	緑										
38			△ ×		灰										
39			△ ×	灰											
40			△ ×												
41			△ ×												
42			△ ×	角	褐						50	5			
43			△ ×									30			
44			△ ×	凝	灰										
45			△ ×												
46			△ ×												
47			△ ×	岩	色										
48			△ ×												47.50~47.70m C _L 級 岩片状
49			△ ×												
50			△ ×												
51			△ ×												
52			△ ×												
53			△ ×												
54	5340	3372													54.00~54.55m C _L 級
55				黒色頁岩	灰 色										
56															
57	5690	3022									15				56.20~56.50m C _L 級
58	5740	2972	△ ×	凝 灰 岩	淡 灰 色										節理面は風化している
59	5800	2912		黒色頁岩	灰 色										
60	5840	2872	△ ×	凝 灰 岩	淡 灰 色										節理面は風化している
61				黒色頁岩	灰 色										
62	6010	2702													

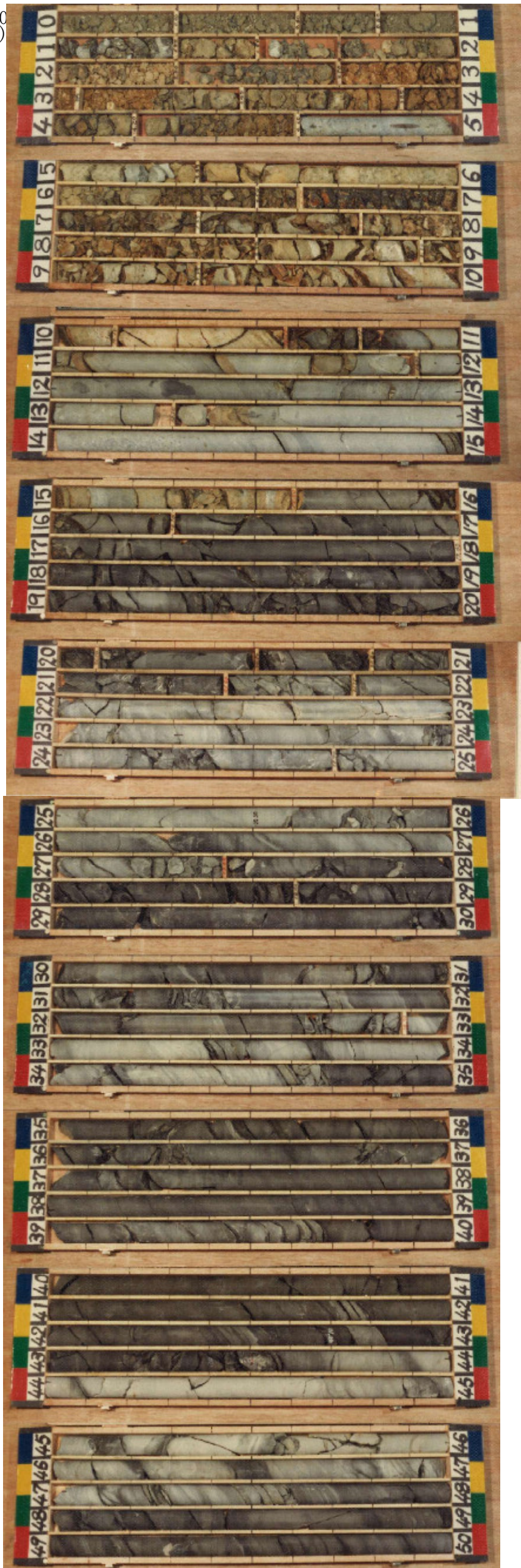
No. 103 孔 (3/3)

GL= 87.12 m

L= 70.00 m

標尺 m	深 度 m	標 高 m	柱 状 図	地 質 名	色 調	ピ ン ト の 種 類	コアの形状			コア 採取 率 %	最 大 コア 長 cm	平 均 コア 長 cm	岩 級 分 類 D, C ₁ , C ₂ , C ₃	記 事
							短 片 状	短 柱 状	長 柱 状					
61	6080	2652	× ×	凝灰岩	灰色	ダイヤモンド ビット			20 40 60 80	15	岩片 2 5		63.00~63.30m C ₁ 級 岩片状	
62				黒色頁岩	灰色									
63														
64	6430	2282												
65	6520	2192	× ×	凝灰岩	灰色				15	5 2 10				
66				黒色頁岩	灰色					30	5 2 12		68.00~68.30m 凝灰岩	
67													68.30~69.50m 節理面は風化している	
68													69.50~69.60m 岩片状	
69	6950	1762												
70	7000	1712	× ×	凝灰岩	灰色					20	10			

0.0
(m)



100.0
(m)

No. 309 孔 (2/2)



No. 309 孔 (1/4)

標高		+14.97		基準		GL-		m												
実施者名		宮谷直一		孔内水位		GL-		m												
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	地質記号	地質名	色調	岩盤区分	最大コア長 (cm)	平均コア長 (cm)	コア採取率	節理頻度 (1/m)	R	Q	D	掘削条件	掘進速度 (cm/min)	サ深	コア	記	事
1					埋															
2					土															
6	+8.37	6.60	6.60																	
7	+7.77	7.00	0.40		黒色頁岩	黒色														
8	+7.22	7.75	0.75		凝灰岩	暗褐色														
9	+6.67	8.20	0.90		凝灰岩	帯黄灰色	CL	10	5											
10	+4.42	10.5	2.05		凝灰岩	灰白色	CM	10	6	1										
11	+3.17	10.80	0.60		凝灰岩	灰白色	CM	11.07												
12	+2.35	12.42	1.62		凝灰岩	灰白色														
13					凝灰岩	灰白色	CH	96	6	5										
14	+0.67	14.30	1.88		凝灰岩	灰白色														
15	-0.53	15.65	1.30		凝灰岩	灰白色	CM	12	4	7										
16					凝灰岩	灰白色														
17					凝灰岩	灰白色														
18					凝灰岩	灰白色	CM	28	4	2										
19					凝灰岩	灰白色														
20					凝灰岩	灰白色														
21	-6.33	21.40	5.80		凝灰岩	灰白色														
22	-8.37	23.05	1.65		凝灰岩	灰白色														
23					凝灰岩	暗灰色														
24	-9.59	24.55	1.51		凝灰岩	暗灰色	CH	100	20	5										
25	-10.57	24.90	0.74		凝灰岩	暗灰色														
26	-11.33	26.30	1.50		凝灰岩	暗灰色														
27	-12.57	27.30	0.95		凝灰岩	暗灰色														
28					凝灰岩	暗灰色	CH	15	3	12										
29					凝灰岩	暗灰色														
30					凝灰岩	暗灰色	CH	80	12	5										

標高		+14.97		基準		基準											
実施者名		富谷貞一		孔内水位		GL- m											
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	地質記号	地質名	色調	岩盤区分	最大コア長 (cm)	平均コア長 (cm)	コア採取率 (%)	簡理頻度 (分/m)	R Q D	掘削条件	掘進速度 (cm/分)	サ深ソリンク度	コアの形状	事
31					黒色頁岩	暗灰色	C ₄	40	12	100	30.75	5+ (5)	83				40.21の凝灰岩、凝灰質頁岩の混在を伴った
32					凝灰岩	明灰色			5	100	31.20	10+ (3)	76				30.75-31.45m C ₄ 凝灰岩、31.7-31.4m の凝灰岩
33	-17.93	32.90	0.45		凝灰岩	明灰色			30	100	32.50	7+ (4)	70				32.40-33.40m 凝灰岩の凝灰岩
34	-18.53	33.50	0.60		凝灰岩	明灰色				100	32.80	9 (8)	80				33.40-33.50m 凝灰岩中凝灰岩の凝灰岩 C ₄
36					黒色頁岩	黒色	C ₄	21	7	100	35.20	10 (4)	68				凝灰岩の凝灰岩
37					黒色頁岩	黒色	C ₄	10	3	100	36.10	7+ (6)	65				35.60-37.70m C ₄ 凝灰岩の凝灰岩
38					黒色頁岩	黒色	C ₄	120	30	100	37.20	4 (1)	80				傾斜 30°-35°
39	-24.13	39.10	2.40		凝灰岩	明灰色				100	39.70	10 (6)	75				36.30-36.34m 凝灰岩の凝灰岩
40	-24.68	39.65	0.55		凝灰岩	明灰色				100	42.70	6 (3)	79				36.30-36.34m 凝灰岩の凝灰岩
41					凝灰岩	明灰色				100	43.40	8 (5)	85				36.30-36.34m 凝灰岩の凝灰岩
42					凝灰岩	明灰色				100	44.00	10 (6)	67				42.43-42.50m 灰色細粒の凝灰岩
43	-28.17	43.70	2.05		凝灰岩	明灰色				100	45.00	7 (3)	72				42.75-42.82m 灰色細粒の凝灰岩
44	-28.72	44.25	0.55		凝灰岩	明灰色				100	48.00	9 (5)	44				43.20-43.54m C ₄ 凝灰岩
45					凝灰岩	明灰色				100	48.00	11 (7)	52				凝灰岩の凝灰岩
46	-31.20	46.18	2.18		凝灰岩	明灰色				100	51.00	4 (2)	83				45.55-45.80m C ₄ 凝灰岩
47	-31.83	46.80	0.62		凝灰岩	明灰色				100	51.50	7 (5)	69				凝灰岩の凝灰岩 傾斜 35° の凝灰岩
48	-32.63	47.60	0.80		凝灰岩	明灰色				100	54.00	5 (1)	90				47.30-47.30m、47.47-47.60m、47.70-47.70m の凝灰岩の凝灰岩
49					凝灰岩	明灰色				100	55.00	11 (7)	50				凝灰岩の凝灰岩
50					凝灰岩	明灰色				100	57.15	5 (3)	85				48.10-48.43m C ₄ 凝灰岩
51					凝灰岩	明灰色				100	58.00	6 (2)	60				50.20-50.50m C ₄ 凝灰岩
52					凝灰岩	明灰色				100	60.00	7 (5)	69				51.40-51.50m 灰色細粒の凝灰岩
53	-38.03	53.00	5.00		凝灰岩	明灰色				100	60.00	5 (1)	90				52.25-52.30m 灰色細粒の凝灰岩 傾斜 35°
54					凝灰岩	明灰色				100	60.00	3 (2)	100				凝灰岩の凝灰岩
55	-40.22	55.00	2.20		凝灰岩	明灰色				100	60.00	11 (7)	50				53.70-53.80m の凝灰岩の凝灰岩 傾斜 35° の凝灰岩
56					凝灰岩	明灰色				100	60.00	5 (3)	85				54.45-54.60m の凝灰岩の凝灰岩 傾斜 35° の凝灰岩
57					凝灰岩	明灰色				100	60.00	6 (2)	60				塊状無層理
58					凝灰岩	明灰色				100	60.00	4 (2)	85				55.00-55.00m の凝灰岩の凝灰岩
59					凝灰岩	明灰色				100	60.00	3 (2)	90				
60	-45.32	60.90	5.70		凝灰岩	明灰色				100	60.00	3 (2)	90				

No. 309 孔 (3/4)

標高		+14.97		基準																					
実施者名		富谷 貞一		孔内水位 GL - m																					
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	地質記号	地質名	色調	岩盤区分	最大コア長 (cm)	平均コア長 (cm)	コア採取率	簡理傾度 (°)	RQD (%)	掘削条件	掘進速度 (cm/min)	サンプリング度	コアの採取	記	事							
51	-45.93	60.90	5.70		黑色頁岩	黑色						3 (2)	90												
52	-46.46	61.43	0.53		砂岩	明灰色			10	100		7+ (5)	60												
53					黑色頁岩	黑色	Ch	100	5	100		1 (0)	100												
54				6 (4)								70													
55				12 (8)								44													
56				8+ (7)								13													
57					頁岩	色	Ch	15	5	100		+	0												
58				4 (2)								77													
59				+								31													
60				5+ (3)								69													
61					頁岩	色	Ch	30	15	100		7+ (5)	60												
62				+								13													
63				100								72.30													
64				100								72.55													
65	-58.13	73.10	11.67		凝灰岩	明灰色						4+ (4)	45												
66	-58.38	73.35	0.25		凝灰岩	白色																			
67	-59.43	74.40	1.05		頁岩	黑色						8 (6)	67												
68	-60.08	75.05	0.65		凝灰岩	明灰色																			
69	-61.03	76.00	0.95		黑色頁岩	暗灰色						4+ (0)	56												
70	-61.98	76.95	0.95		凝灰岩	暗灰色																			
71					凝灰岩	淡緑色	Ch	150	5	100		1 (0)	100												
72				2 (2)								100													
73				2 (0)								100													
74				2 (1)								91													
75					凝灰岩	淡緑色	Ch	36	7	100		10+ (5)	28												
76				3 (1)								90													
77				0								100													
78				2+ (1)								51													
79	-68.51	84.48	7.50		凝灰岩	暗灰色						+	20												
80	-69.23	84.70	1.22		凝灰岩	暗灰色																			
81	-70.13	85.10	0.40		黑色頁岩	暗灰色																			
82	-71.30	86.27	1.17		凝灰岩	淡緑色	Ch	70	5	100		3 (1)	100												
83				7 (2)								95													
84				3 (1)								96													
85				4 (4)								100													

No. 309 孔 (4/4)

標高		+ 14.97		基準													
実施者名		宮谷貞市		孔内水位													
GL-		m															
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	地質記号	地質名	色調	岩盤区分	最大コア長 (cm)	平均コア長 (cm)	コア採取率	篩理頻度 (1/m)	RQD	掘削条件	掘進速度 (m/min)	サンプリング度	コアの形状	事
91					凝灰岩	淡緑灰色	CH	70	20	100	5 (5)	100					90.20~91.35m 粗粒の凝灰岩。基質は細粒
92											1 (0)	96					91.35~96.00m 粗粒の凝灰岩。層10cmの緑色岩片を有。
93											0	100					
94											0	100					
96	-81.03	96.00	9.73				CH	485	100		4 (1)	97					
97							B	200	5	100	1 (0)	100					96.00~105.00m 火山礫凝灰岩。基質は粗粒の凝灰岩。径10~20mmの火山岩片を有。基質の星形互層の傾向。
98											4 (2)	96					
99											2 (1)	97					
100											2 (2)	100					
101											4 (1)	98					
102											1 (0)	100					
103							CH	16	3	100	+	43					103.10~103.50m CH状。岩石は呈露して1979年〜2003年 泉源口新設で有。
104											4 (1)	86					
105							CH	167	20	100	3 (2)	97					105.00~110.00m 基質は粗粒の凝灰岩。径10~20mmの火山岩片を有。
106							B	100	5	100	2 (0)	98					
107											4 (1)	96					
108											5 (3)	93					
109							CH	27	15	100	7 (3)	69					
110	-95.03	110.00	14.00														
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	